



大 地

(じねんじょ通信)

発行者: 社会福祉法人じねんじょ
発行日: 平成19年 3月20日
TEL: 0832-52-2227
FAX: 0832-52-2259



援助についての 再考

社会福祉法人じねんじょ
理事長 金原 洋治

早いもので、じねんじょは4年目の春を迎えます。3年ひと区切りとよくいわれますが、利用者の方も増え、スタッフも徐々に力を付け、運営のメドもある程度見通しがたつようになってまいりました。基礎固めの段階から、ステップアップして将来を考えていく年にしたいと思っています。

障害者自立支援法も、関係者の声が国に届き「障害者自立支援法の円滑施行のための特別対策」が実施されることが決まりました。この特別対策は、平成19年、20年の2年間に、緊急的な経過措置として1200億円の予算が、利用者負担の軽減や事業所に対する激変緩和措置に投入されます。利用者の方やご家族の方も私たち事業側も一安心ですね。私たち運営側も、国の動向を見ながら、また、利用者や保護者会、理事や評議員の皆様、育む会の方々と一緒に、この経過措置が切れる平成20年以降に向けた将来計画をたてる必要があると思っています。お力をお貸し下さい。国は介護保険との統合を見据え着々と準備を進めているようです。

障害者の支援の中で最も困難なのは、障害の理解や支援が難しい精神障害者の支援だと思います。精神障害支援の分野で全国から注目されている「べてるの家の「非」援助論」を最近読み、本当にそうだなと感じたことのいくつかを皆さんに紹介します。

一つは、「問題を持つことが大切だ。」ということです。人はみな、よりよい人生を送りたいと願っていますが、苦勞を重ねるのが人生です。問題が出て解決し、それを繰り返しながら日々の生活を送っています。しかし、問題が起こることは悪いことだと考え過ぎると、自分はダメな人間だと考え生きるのがつらくなったり。問題を誰かのせいにして解決を図ろうとしてしまいます。問題が起こることは決して悪いことではありません。問題が起こってもまた立て直せばいいのです。問題を解決することの繰り返しで少しずつ成長していきます。でも、問題を探し過ぎたり、解決しようとし過ぎるのもきついかもしれませんね。最も大切なのは、希望思考を持ち、良かった点と、さらによくする点を探し提案することです。

もう一つは、「弱さは触媒であり希少金属である。」ということばです。強いことや正しいことに支配された価値観の現代社会の中で、私たちは、人間とは弱いものだという事実に向き合い、弱さの持つ可能性と底力を用いた生き方を選択することが大切です。重い障害を持った人達の支援をしていると、弱さは、それ自体で一つの価値があるのだということに気づきます。重い障害を持った人達は、世の中を変え、人と人をつなぎ、人としての本当の生き方を多くの人に気づかせてくれます。

強さに支配された社会は、企業は残っても社会は崩壊し生きる価値がない世界になってしまうでしょう。このようなことを感じた1冊でした。

(参考図書 浦河べてるの家：べてるの家の
「非」援助論、医学書院)

重症心身障害者地域生活支援センター 2006年度実施行事

- 5月 親子活動～北九州空港見学～
- 6月 ミニ運動会in盲学校体育館
- 7月 花火大会inシーサイド綾羅木
ミニミニ親睦旅行(保護者会主催)
第1回下関レクリエーション
ポッチャ大会 参加
- 8月 馬関まつり参加
- 9月 遊花フォーラム2006

- 10月 第3回じねんじょフェスティバル
- 11月 第10回下関市障害者
交流卓球大会 参加
- 12月 手をつなぐ
みんなの福祉フェスタ 参加
クリスマス会
- 1月 成人を祝う会
- 3月 もちつき大会
～下関西ライオンスクラブ主催～



今日も元気で！

日中通園保護者 木下道子

「いってらっしゃい！」今日もしねんじょ1号車に乗るところから由季子の日が始まります。少し遠回りして行くので、朝からちょっとしたドライブです。車のゆれは気持ちよく、朝が苦手な娘にとっては“ちょっとおやすみなさい”の時間になったりもしています。

大好きな活動…ドライブ、プール、足浴、スヌーズレンのウォーターベッド etc

苦手な活動…団体行動（盲学校時代は、同級生もなく、一人又は少人数での活動が多かったからでしょうか）

食事は経管栄養で、学校時代は私が学校に行って注入していましたが、今ではスタッフの方に注入してもらって、楽しい時間を過ごしています。

じねんじょでの活動の様子は、連絡帳と写真でいろいろと想像しながら楽しませていただいています。この連絡帳、家族の会話に役買ってもらっているんですよ。

センターでは、陶芸、さをり織、ヨガのサークルがあり、保護者や地域の方で楽しく活動しています。私もさをり織とヨガに参加させていただき、娘とは違った場所でリフレッシュさせていただいています。

あ～そろそろ娘の帰宅時間です。時には降車場所まで全力疾走。まだ走れるなんて娘のおかげかもしれませぬ。「おかえり！」まだ車に乗っていたような娘がしぶしぶ降りてきます。「あすもよろしくお願いします。」と手を振って車を見送り、「今日は何したの？」と話しかけ、娘は、ニコニコ笑ったり、うっとうしそうな顔をしたりしながら、家まで二人で歩いて帰ります。

じねんじょでの生活もうすぐ4回目の春がやってきます。この3年の間に福祉制度も変わり、なかなか頭の切り替えも大変ですが“今”の時間を大切に。そして将来にも目を向けていかなければと思っています。

何かがきっと待っている

放課後利用保護者 安藤裕香子



「丸い地球の水平線に何かがきっと待っている 苦しいこともあるだろさ 悲しいこともあるだろさ だけどぼくらはくじけない 泣くのはいやだ笑っちゃおう」

子どものころ夢中になって見ていた人形劇の主題歌ですが、私自身の応援歌として気分が落ち込んだときに口ずさんでいます。この頃忘れていたことをふと思い出すことが多く「まだらボケ」かもしれません。あぶないです。しかも皿を洗いながら「ひょっこりひょうたんじ〜ま〜♪」我ながら危なすぎます。

でもこの詩、ポジティブで何ていい詩なんでしょう。そう思われませんか？無口なドン・ガバチョ悟もリズムをとって頷いています。

「自閉症と知的障害です」と診断された13年前。言葉も話せず、パニックで大暴れする悟を見ていた私の母は「昔だったら普通に生活できなかっただろうね。」とため息まじりに言ったものでした。

最近「滝乃川学園」をつくられた石井筆子先生の生涯が映画になりましたが、当時は母のイメージ通り障害児と家族はつらい境遇にありました。厳しい世相の中、ご自身も障害児の母であった石井先生は、子ども達の居場所をつくり障害児教育の土台を築かれました。

現在、私たちが享受している学校教育・療育・余暇支援等は、先輩の保護者の方、支援者・関係者の方が苦勞されて創出されたものです。また、私がもし障害児の親でなかったら支援員の方のように、こんなに思いを寄せてこの子たちに関わられたでしょうか。

このことを思うと感謝の念と共に私にできることは協力したいと思うようになりました。

3年後・5年後・10年後…皆様はどのような将来を夢んでいますか？一人の力では無理でも皆で気持ちを合わせると、叶う夢があると思われませんか。「何かがきっと待っている♪」楽天的な私は信じています。この街で障害の有無に関わらず普通に暮らしていけますよう、ご支援ご協力を心よりお願いいたします。

「新サービスへ変わります！」

いよいよ平成19年4月から知的障害者通所更生施設「じねんじょ」が、障害者自立支援法による生活介護サービスへ移行します。

では、生活介護というサービスとは、「じねんじょ」の利用契約書の目的から引用して言うと、「利用者（メンバー）が可能な限りその地域における生活に移行できることを念頭に置き、個別支援計画に基づき、日常生活上の援助、日中活動支援などを行う。利用者がその有する能力に応じ自立した生活を営むことができるよう、利用者と事業者の双方の理解と合意のもとに支援を提供することを目的としているサービス」です。

人の生活は十人十色であり、メンバーにも様々な生活模様があります。私たちは日々目的に沿いながら、メンバーの豊かな生活づくりが出来るように努力したいと思います。これからも車の車輪のごとく、保護者の皆様と一緒に歩んで行きたいと思っていますのでどうぞ宜しくお願いします。

生活介護サービス事業所じねんじょ 所長 石塚 忠志

じねんじょの毎日は…



じねんじょに勤務して早3年。メンバーさんと十分にコミュニケーションできず自問自答の日々です。

サービス管理責任者 杉村 粉津枝

「慣れ」に流されないように、4年目は新たな気持ちでメンバーと楽しかった♪と思えるようなことをたくさん経験して行きたいです。

支援員 柴田 美枝

メンバーの方々に支えられ、支えていけるように日々努力していききたいと思います。

支援員 村中 大樹

じねんじょも4回目の春を迎えますね。ここで皆と過ごす時間が、元気で楽しいものでありますように。

栄養士 出口 千晴

メンバーさんの笑顔、明るさに触れパワーを戴きました。これからも無事故で安全運転に徹します。

運転手 小川 泰宏

未だメンバーさん達の「心の声」を聞き取ることができません。しっかりと耳を澄ませて、よく聞けるようになりたいと思います。

支援員 松本 真紀

新しいメンバーさん、保護者の方、新スタッフの方々と早く仲良くなって楽しい活動がしたいです。

支援員 八嶋 順子

音楽活動でのメンバーさんが鳴らした楽器は、一流の音楽家が鳴らした楽器よりも、心温まる私の大好きな音です。

支援員 大濱 貴江

「その時の出逢いが 人生を根底から変えることがある よき出逢いを」(みつお) …ありがとうございます

支援員 越智 裕子

いつもメンバーさんの笑顔で元気をもらっています。

支援員 酒井 理恵

メンバー一人ひとりが、優しさや心の豊かさを気付かせてくれます。

支援員 荒川 未央

笑顔 泣いた顔 怒った顔 いろいろな表情を見せてくれる皆と一緒に過ごせることを幸せに感じています。

作業療法士 藤本 幹

メンバーさんの笑顔に元気づけられ、楽しく活動できたらいいと思います。

看護師 宮川 奈美

手探り状態の3年でした。やっと落ち着いて仕事ができるようになりました。よりよい支援を目指します。

調理員 鷲尾 愛子

X'mas会2006



お母さん達のコーラス隊♪



運転手さんも



ボランティアさん達



赤木様より
ケーキのプレゼント♪

ボランティアさんも参加して
歌って 踊って ケーキも食べて…
そうそう
サンタさんもやってきました！



お父さんも…

成人のお祝い



今年は6名！
新成人の誕生です
大人への扉を開く時…
みんなでお祝いしました



記念品の贈呈
先輩から新成人へ…



もちつき大会2007



今年も下関西ライオンズクラブさん
主催のもちつき大会が開催されました

むくの年末年始！



Xmas会2006

トーンチャイムさんのきれいな音色



今年の抱負…

「うーん…
かき かき かき」



さをい織いの帽子♪



精神統一！
書の心は
奥が深い…

ついこの間、年が明けたばかりと思っていたのに、もう4月です。一日一日を大切に、皆さんと共に歩んでいきたいと思ひます。

むく施設長 小寺 美帆

時折みるメンバーさんの“好きなものは好き 嫌なものは嫌”という素直な反応に癒されたりします。

事務員 船越 美智子

メンバーさんの静かに見つめられる目とにっこり笑ってくれる笑顔に励まされて、毎日がんばれています。

看護師 金崎 恵美子

気付けばもう3年が経っていました。まだまだ未熟な私ですが、メンバーと過ごす時間が大好きです。

支援員 西林 美和

じねんじょに勤めて、1年が経ちました。メンバーさんや保護者の方の笑顔に日々励まされます。

支援員むく施設長補佐 森山 正啓

メンバーさんが私の世話をしたのでは？と思う一年でした。脳の老化はこわいこわい…ぼーっとしていると笑われています。

支援員じねんじょ主任 野村 真弓

利用者の方々の笑顔がいつまでも続きますよう。

調理員 吉岡 正子

メンバーさん達に対して支援員さん方が、熱心に指導・援助されている姿にいつも感銘しております。

運転手 本木 誠

みなさんが「今 このじねんじょにいる」ということが、何よりの感謝であり、感動です。

作業療法士 日野 富美



むくっこは 国の子 元気な子!



メンバーと一緒になければできないたくさんの貴重な経験をしています。素敵なメンバーと共に生活出来ること、感謝します。

むく主任 鈴木 育実

じねんじょのメンバーさんと出会って3年!!数え切れないほどたくさんの思い出が出来ました。これからもメンバーさんと一緒に豊かな人生を送っていきたいです。

保育士 満野 芙美子

メンバーと関わる中で「笑顔」に凄い力があることに気づきました。悲しい時、嫌な事があった時でも笑顔になれる「でっかい大人」になります。

保育士 増本 法徳

みんなに出会えて感謝!お母さんパワー・優しさ・明るさに負けぬよう頑張るぞ!

看護師 金田 治美

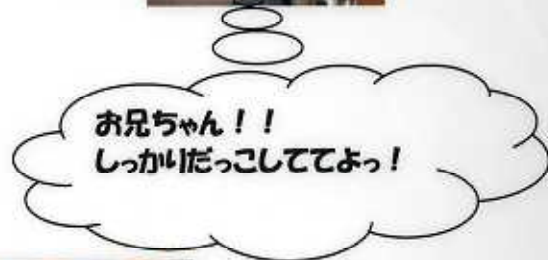


おにいちゃん
おねえちゃんと一緒に
クリスマス会



きょうだいっ子も参加!

「おにいちゃん!
寝てる!!
もうっ私が書くわ!」



か きめたぞ!新年の誓い

き



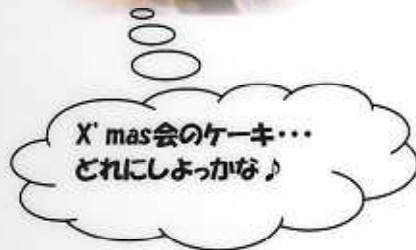
そ



春 1年生になる3人組
むくっこもあと少しです

め





X'mas会のケーキ…
どれにしようかな♪



広いはずのおかご部屋
なんだか狭く感じます…
いすといゲームに大騒ぎ！

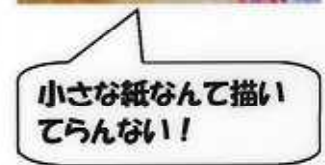


元気いっぱい！おかご



生野神社へ初詣

亥年 今年の抱負はこれだっ！



小さな紙なんて描い
てらんない！



みんなに出逢えた奇跡、もらった「笑顔」は大切なあったかい宝物。いつまでも色あせることなく心の中に持ち続けたい…

おかご主任 船越 智絵

外は寒くても、世間の風は冷たくても（笑）メンバーさんといるといつもほっこりあったかい気持ちになります。

支援員 岩本 由紀恵

いつもじねんじょに来るのを楽しみにしています。メンバーさんに教わることばかりですがこれからも頑張ります。

支援員 中村 桃子

下半期 様々な活動や行事に
ご協力いただいたみなさん(敬称略、順不同)

- ・ トーンチャイム (ハンドベル演奏)
- ・ れんげ畑
- ・ 豊浦小学校育友会サークル ひよこっこ
- ・ 下関西ライオンズクラブ
- ・ 身障者スポーツセンター
- ・ ヘルシーランド下関
- ・ 梅光学院 村中 季衣
- ・ 赤木 順二 ・ 山崎 徳造
- ・ 個人登録ボランティアのみなさん
- ・ 紙箱を折って下さるみなさん



ご支援ありがとうございました。
これからも宜しくお願いします。

「遊花フォーラム2007」のご案内

「遊花フォーラム2007」を下記の日程で開催するべく準備を進めています。

どうぞ万障お繰り合わせの上、多数のご参会をお待ちしております。

「食べる機能の発達に適した食事とは」

講師：牟田園 満佐子 氏

(北九州市立八幡西特別支援学校 栄養士)

「食べることが大好きに～無理なく、安全に～」

講師：井口 利之 氏

(北九州市立八幡西特別支援学校 教諭)

日時：平成19年6月9日(土)

13時～16時

場所：下関市社会福祉センター(予定)

その他：託児等詳しくは後日配布のチラシをご覧ください

主催：社会福祉法人じねんじょ



人事異動のお知らせ

新しい職員です。

どうぞ宜しくお願いします。

調理員 吉岡 正子

じねんじょを退職しました。

みなさんお世話になりました。

調理員 上園 聡子

寄付者氏名(敬称略、順不同)

H18.11月～H19.3月現在

- ・ 新井 萬
- ・ 原田 勉
- ・ 羽藤 和子
- ・ やまぐち小児科
- ・ (株) 落合商会
- ・ 梅光学院幼稚園 保護者会
- ・ 第7回大平物産Shu-cupゴルフコンペ
- ・ 重症心身障害者地域生活支援センター保護者会
- ・ 陶芸サロン・じねんじょ窯
- ・ さをり織サークル



たくさんのご寄付をいただきました。

ありがとうございました。



大平物産Shu-cupゴルフコンペ

“ドキドキ”
代表して受け
取ります!

かわいいお友達
も一緒に♪
また
遊びに来てね!



梅光学院幼稚園 保護者会

編集後記

例年より早く梅の甘い香りが、春の訪れを教えてくださいました。土手には土筆が顔をだし、食卓には春野菜のタラの芽、筍なんか並びます。厳しい冬を超え、春の訪れが待ち遠しいのは、植物も、虫たちも、そして人々も同じかもしれません。そして、日本の春の風物詩、桜の開花まであと一息です。

新年度を迎えるに当たり、じねんじょも大きな変化の一年となりそうです。障害者自立支援法による生活介護サービスへの移行は、私たち職員に「福祉とは」について勉強させられる機会をもたらしました。よりよい支援を求めて、メンバー一人一人のライフステージを見据え、貴重な時間を一緒に過ごせる喜びをかみしめながら日々の支援に携わって行きたいと思っています。

じねんじょが根強くこの生野地域に、下関に結びつけるようご支援のほどお願いします。

(地域交流部会)